

冠動脈 CT 検査を受けられた皆様

【冠動脈 CT 画像データの画像解析研究への使用のお願い】

国立病院機構災害医療センター中央放射線部では「希釈 TBT 法を用いた冠動脈 CT における造影剤短時間注入の検討」を開始しました。この研究は、冠動脈 CT 検査の造影剤低減を目的としています。冠動脈 CT 検査は造影剤を用いることにより冠動脈の狭窄などの観察が可能ですが、その後の血管内治療時にも造影剤を使用することになります。造影剤は腎臓から排出され、多量に使用することにより腎機能が低下する恐れがあります。冠動脈 CT 検査に用いる造影剤量を低減することにより、患者さんの腎機能の保護に繋がると考えています。今回の希釈 TBT 法において、遡及的に検討し、造影剤を低減することが臨床上問題ないことを確認するための研究です。

【研究内容】

希釈 TBT 法を用いた冠動脈 CT における造影剤短時間注入の検討

【目的】

冠動脈 CT に使用している 320 列 CT におけるボリュームスキャンの撮影時間が 1 秒以下のことから造影効果持続時間がヘリカルスキャンより必要なく注入時間を 10 秒以下にできる可能性があります。撮影タイミングのより正確な取得が必要となります。希釈 Test bolus tracking (TBT) 法は、TBT 法の test bolus に main bolus と同じ注入条件の希釈造影剤を使用した造影法であり、従来の TBT 法と比較して安定した造影効果が期待できます。今回は冠動脈 CT における希釈 TBT 法を用いた短時間注入時の造影効果の影響について遡及的に検討します。

【研究期間】

倫理審査委員会承認から 2023 年 9 月末まで

【対象】

2023 年 1 月から 2023 年 6 月までの冠動脈 CT 検査（アブレーション術前を除く）を受けられた方でこの研究にご協力いただける患者さんの CT 画像です。

【方法】

期間内に冠動脈 CT 検査（アブレーション術前を除く）を受けた患者さんの CT 画像を匿名化し、研究に利用いたします。

【利益相反】

本研究において開示すべき利益相反はありません。

【個人情報の使用について】

本研究で得られた個人情報が外部に洩れることのないよう厳重に管理し、データは完全に匿名化して用いるものとします。

本研究にご自身のデータ使用を拒否される方は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

【問い合わせ連絡先】

災害医療センター

〒190-0014 東京都立川市緑町 3256 番地

所属・担当者名：中央放射線部 森 拓真

電話番号：042-526-5511（代表）

*電話によるお問い合わせは、平日の9：00-17：00 お願いします。

e-mail；mori.takuma.ex@mail.hosp.go.jp